

第1回 新市立病院設計・施工事業者選考委員会 議事録

- 1 日 時 令和2年10月14日(水) 17:00~18:30
- 2 場 所 横須賀市役所 本館3号館 5階 正庁
- 3 出席委員 岩堀委員、高島委員、土屋委員、藤田委員、田中委員、石渡委員、山岸委員
- 4 事務局 健康部市立病院課新市立病院建設担当
上阪担当課長、鷺阪主査、飯嶋主査、山田主査、吉田主任、原口主任、大塚主任
日建設計コンストラクション・マネジメント(株) 3名
- 5 傍聴者 0名(非公開)
- 6 議事内容
 - (1) 辞令書交付(永妻副市長あいさつ)
 - (2) 委員紹介、自己紹介
(事務局) 本日、委員7名中6名が出席されているため、新市立病院設計・施工事業者選考委員会条例第5条第2項に規定する開催条件を満たした。
 - (3) 委員選任・委員長職務代理者指名
(事務局) 新市立病院設計施工・事業者選考委員会条例第4条第1項では『委員会に委員長を置き、委員が互選する。』となっている。委員の中から委員長をお選びいただきたい。
(委員) 現在、ときわ会グループの顧問を務められ、過去に神奈川県立病院機構の理事長ほか多くの代表を務められ、新市立病院設計事業者選考委員会の委員長を務められた実績のある、土屋委員を委員長に推薦する。
(委員一同) 異議なし。
(事務局) 一同の承認により、土屋委員を選考委員長とする。
(ここで、高島委員到着。自己紹介。)
(委員長) 新市立病院設計・施工事業者選考委員会条例第4条第3項の規定に基づき、委員長の職務代理者を高島委員に指名する。
(高島委員) お引き受けする。
(委員長) 本委員会の傍聴の可否について決定したい。事務局案があれば説明してほしい。
(事務局) 今回の選考委員会は、第2回において各事業者から提出される技術提案書の読み合わせを行うこと、また、第3回では各事業者がプレゼンテーションを行うが、事前に選考委員がどのような質問を行うか分かってしまうと、後からプレゼンテーションを行う事業者が著しく有利になってしまうことから、

すべての選考委員会を非公開として傍聴は実施せず、最終の選考委員会を終えた後に委員名を非公表とした議事録を公開したいと考えている。

(委員長) 事務局案について質問・意見はあるか。

(委員一同) 質問・意見なし。

(委員長) 事務局案のとおり、本委員会は非公開とし、すべての委員会を終えた後に委員名を非公表とした議事録を公開する。

(4) 新市立病院の概要について

(委員長) 新市立病院の概要について、事務局から説明をお願いします。

《資料をもとに、事務局より新市立病院の概要を説明》

(委員長) 事務局からの説明について質問・意見はあるか。

(委員) 病床数は何床か。

(事務局) 450床である。

(委員) スケジュールにおいて設計期間と工事期間が重複している理由は。

(事務局) 設計において許認可の申請期間を予定しており、申請期間中には許認可に関わらない準備工事を行う予定。

(委員) 建築工事の着工時期は。

(事務局) 令和5年の初めあたりを計画している。(工事期間は24ヵ月)

(委員) 現在、神明公園にあるゲートボール場はなくなるのか。

(事務局) 神明公園からはなくなるが、久里浜地区の他の公園を代替えとして使用する予定である。

(委員) 断面図の説明があったが、図面の右側が駐車場か。

(事務局) その通りである。

(委員) 敷地内に大型バスは進入可能な計画か。

(事務局) 大型バスが進入可能な計画とはしていないが、マイクロバスは想定しており、高さ、幅等の検討はしている。

(委員) 回転の軌跡や、停止時の追い越しの検討も重要である。

(委員) パンデミック時に患者を病院に入れてはいけないと考えるが、病院と感染症に関する方針の議論はしているのか。事業者から提案された場合、議論をしていない内容の提案であると減点となる可能性もあるため、議論された内容は丁寧に伝えてほしい。

(委員) 放射線、免疫治療等のがん治療は行うのか。

(事務局) 化学療法は行う予定。

(委員) 場所はどこか。

(事務局) 2階、東側中央にあたる。血液浄化室のとなりである。

(委員) 薬剤の上階という位置づけで、小荷物昇降機で搬送するのか。

(事務局) 外来の近くという位置づけである。

(委員) 薬剤と直結しているべきとの考えもあるので、配置を決定した経過が分かるようにしてほしい。

(委員) 屋上のヘリポートはEVとレベルがあっているのか。

(事務局) EVが日影規制に干渉してしまい、下がったレベルにあるため、スロープでヘリポートまで上がっていく計画である。

(委員) 斜路をベッドで移動することは病院と良く議論して決めてほしい。勾配を緩くしたり緩衝帯を作ったり、いざというときは斜面を登る等考えておかないと怖い。そういったことを良く議論した上で結論が出たことが分からないと心配な計画である。

(5) 事業者選考スケジュール及び事業者選考方法について

(委員長) 事業者選考スケジュール及び事業者選考方法について、事務局から説明する。

《資料をもとに事務局より、事業者選考スケジュール及び事業者選考方法を説明》

(委員長) 事務局からの説明について質問・意見はあるか。

(委員) 経審 1800 点以上となると準大手も参加できるのか。

(事務局) 準大手も参加できる。

(委員) 経営事項審査が公表されるのはいつか。

(事務局) 経営事項審査の確定は 10 月末までに終わると聞いているので、資格審査の受付までには間に合うと考えている。

(委員) 1800 点以上となると、大まかに何社くらいになるのか。

(事務局) 大まかに 20 社程度が該当する。

(6) VE提案について

(委員長) VE提案について、事務局から説明をお願いします。

《資料をもとに、事務局よりVE提案を説明》

(委員長) 事務局からの説明について質問・意見はあるか。

(委員) 良く考えられており、減額についてはわかりやすいが、効果を数値化するのは難しいと思う。その辺りは委員会で議論するということか。

(事務局) 最終的にはそうなると思う。ライフサイクルコスト低減の提案があると思われるが、その実証は難しいと考えている。

(委員) そのような案は採用しないことになるか。

(事務局) 選考委員会において判断して頂きたいと考えている。

(委員) 事務局の方で数値化するなど運営してもらえると良いと思う。

(事務局) 今後、技術提案の細部に関して提案させて頂きたい。

(委員) 提案について、不採用になったものは減点にはならないか。

(事務局) 実施設計、入札価格に確実に反映して頂くことで、減点の対象にはならない。

(委員) VE提案の範囲に 13 項目あるが、重きを置いている項目はあるか。例えば環境負荷が増大するというのは数値化した判断が難しいと思う。また、VEの予定される効果額を示されても、出された額を鵜呑みにして良いのか。予定であるため、情勢等で将来、結果が変わる可能性がある。将来予測まで含めた提案とすると長いスパンでもあるため、難しい問題と感じた。

(事務局) 環境負荷が増大するものについては、基本設計のレベルでは推し量れない所

であるので、採用は慎重にならざるを得ないと考えている。予定される効果額については、ライフサイクルコストではなく、直接工事費に対するVE効果額であるため、明示された効果額を入札額に反映してもらうイメージを持っている。

(委員長) 大幅な変更との記載があると、提案が限られてしまうがこのような表現で良いか。

(事務局) 基本設計を覆すような提案を出してほしくないという思いから、このような書き方をしている。

(委員) VE提案が採択されて、それが実施できなかった場合、罰則等は考えているか。

(事務局) 技術提案を含めて、確実に履行されるべきものと考えているが、罰則を数値として示して確実に履行して頂くことを検討している。

(7) 事業者選考基準について

(委員長) 事業者選考基準について、事務局から説明をお願いします。

《資料をもとに、事務局より事業者選考基準を説明》

(委員長) 事務局からの説明について質問・意見は。

(委員) 地元活用の配点が一部2.5点とあるが、小数を用いるべきではないのではないか。

(事務局) 整数に訂正する。3点とする。

(委員) プレゼンテーションの6点(2割)の配点はどのように決められたか。配点が高く、技術力よりもプレゼンテーション能力だけが高い応募者が良い評価をとってしまうという事態を心配している。

(事務局) 今後、病院関係者と話し合いをする中でコミュニケーション能力が重要と考えている。プレゼンテーションでその部分を測りたいと考えているので提示した内容の配点でお願いしたいと考えている。

(委員) 総合評価点は直線的に下がるのではなく、円弧を描いて下がるのか。

(事務局) 直線的に下がる。

(委員) プレゼンテーションの採点をする上で、担当者の人柄は非常に重要であると考えている。プレゼンテーションに参加する全員からそれぞれ説明を聞くことができるのか。

(事務局) 全員に万遍なく話してもらうことを想定している。

(委員) 各委員にお願いしたいが、説明を鵜呑みにせず、本当に実現可能な提案なのか見抜いてほしい。今までどういう仕事をしてきたか、具体的な数字を挙げて説明しているか、また一方的でなく相手の気持ちを汲み取っているか等、その上で人柄は非常に重要だと考えている。

(委員) プレゼンテーションの時間は、なるべく長くしてほしい。

(事務局) 参加者数にもよるが、可能な限り長い時間を確保するよう検討する。

(委員) 実施設計に基本設計者が参加可能であるが、他の設計者との公平性は配慮しているか。

(事務局) 入札公告時にある程度の資料を、参考として開示することを考えている。

(委員) 短い時間に採点するのは難しいと思うが、プレゼン終了後、委員間で議論する時間の余裕はあるか。

(事務局) プレゼンテーション終了後、採点前に議論の時間を設けたいと考えている。

(8) その他

(事務局) 本日の議事録については、各委員にメールで送付する。承認、修正の旨をご連絡いただきたい。

次回の委員会開催は、3月上旬を予定しているので、改めて事務局より日程調整させていただく。

(委員長) 本日の次第は以上。第1回新市立病院設計・施工事業者選考委員会を閉会する。